

ルーテル学院報 Luther No.3

地域を知り、地域とともに支えあうルーテル学院へ 学院創立86周年記念式典



4人の永年勤続者を代表して藤川千穂さんがスピーチ



感恩奉仕をテーマに実践活動を報告する坂口裕俊さん



清掃活動の様子



拾ったゴミとともに

10月3日、九州ルーテル学院創立記念式典が中高チャペルで開催され、全教職員と関係者をあわせて150名が参加しました。開会礼拝に始まり、坂根信義理事長からのメッセージ、永年勤続表彰、来賓挨拶、および学院倫理綱領の朗読が行われ、学院が一体となった式典となりました。

また、永年勤続表彰者を代表して、藤川千穂さん（学院総務部）が「高校、短大と青春時代を過ごした母校で働けることに幸せを感じる。今後、建学の精神である『感恩奉仕』を胸に、学院発展の力になりたい。」と謝辞を述べました。

記念式典終了後は『地域の支えに感謝して『感恩奉仕』をテーマに学院研修会が開催され、坂口裕俊さん（大学学生支援センター）の講話のあと、近隣地域の清掃活動に汗を流しました。

Contents

2012年 夏～秋の九州ルーテル学院	2
スポットライト	6
聖書の言葉	6
ルーテル学院ヒストリー	7
インフォメーション	8

九州ルーテル学院

Luther

学院全体

さわやかな秋空のもと ホームカミングデーにぎやかに

す。
プログラムの開会礼拝
に始まり、ミニコンサー
ト、バザー、懐かしい制
服試着会、福引交換等が
行われ、あちらこちらで
思い出話に花が咲いてい
ました。

このイベントは卒業生の
皆様に、年に一度は母校を
訪れていただき、懐かしい
恩師や友人との親睦を深め
ていただくため、また、
さまざまな形で学院との
関わりを深めてもらうた
めの企画であり、今回で
6回目の開催となりま
す。

11月3日の文化の日、九
州女学院同窓会（のいばら
会）主催による、ホームカ
ミングデーが開催され、約
600名の参加者で賑わい
ました。

ある参加者は「久しぶり
に母校を訪ねることがで
き、興奮している。昔と変わ
らない校舎、制服、全体の雰
囲気に感動した。可能なら
ばもう一度入学したい。」と
笑顔で語ってくれました。

来年のホームカミング
デーも11月3日に開催予定
です。皆様のご参加をお待
ちしております。



清重尚弘院長による開会礼拝



賑わうバザー



吹奏楽部による演奏と会場全体



2012年 夏～秋の

College

大学・大学院

こども専攻卒業生 母校で再会

大学の人文学科こども専攻は9月1日、今年の3月、保育士・幼稚園教諭となった卒業生を対象としたリカレント教育（夏期研修会）を開催しました。

この教育は、卒業して半年が経った教え子たちがどんな悩みを抱えているかを把握するとともに、保育力や音楽力等々、保育士に必要な能力および資質の向上を目的としています。昨年に引き続き2回目の開催となり、19名が参加しました。

清重尚弘学長による講話をはじめ、卒業生同士の情報交換等、社会人としての自覚と責任、そして教育者としての誇りをもたせる内容で実施しました。

卒業生の櫻井麻紀子さん（熊本市立城東保育園勤務）は、「久しぶりに先生や仲間と会えてリフレッシュできた。これから一人前の社会人・教育者となるよう頑張りたい」と笑顔で話してくれました。



情報交換

専攻主任の白樫静枝教授は「2期生も昨年に引き続き就職率100%を達成できたが、就職後の継続的な指導も、本学こども専攻の方針です。これからも大学と卒業生の輪を密にして、悩んだらいつでも母校に相談できるという体制を築いていきたい」と語っています。



清重学長による講話

「かくれキリシタン」を学ぶ ～サマーキャンプを終えて～

今回のサマーキャンプは、9月3日～4日の2日間「かくれキリシタン」をテーマに、学生と教職員25名で、長崎市の出津から中心部に向かって「かくれキリシタン」に関連する資料館や教会をめぐるりました。2日目は「かくれキリシタン」の研究者である日本福音ルーテル長崎教会の濱田道明牧師のお話を聞くことができ、多くの迫害をうけながらも信仰を守り続けようとした先人の姿を覚え、信仰についてあらためて考える機会になりました。

写真は、外海町のド・口神父記念館で、ふとしたことから、120年前のオランダの演奏で学生が賛美歌を歌うことができた場面です。歴史がつながっていることを確認し、感動を覚えたひとときでした。



大学1号館がリニューアル

10月2日に大学1号館リニューアルオープンセレモニーが行われました。清重尚弘学長の挨拶、得丸正英九州建設社長からの概要説明に続き、見学会が行われました。

今回のリニューアル工事は夏季休暇期間を利用して行われ、1号館の耐震工事、外壁の塗り替え、および1・2号館の空調設備の全面入れ替えを実施しました。

また、エアコンの室外機のほとんどを屋上に移動させたことで外観が一掃され、中庭の快適な空間を創り出すことができました。さらに、チャペルにも待望の空調設備が設置されたことにより、季節を問わず、快適に利用することが可能になりました。この最新の空調設備導入により、電力消費が少なくなり節電対策としても省エネに一役かっています。

今回のリニューアルによって大学1・2号館は、快適で安全な教育環境の形成および、勉学やサークル活動など、学生たちの多彩で活発な活動をしっかりと受け止める施設として生まれ変わりました。



猛暑でも快適に一大学チャペルで初開催のオープンキャンパス

九州ルーテル学院

High School

高校

第4回ルーテル・アート・アカデミーコンサートを終えて

学院創立80周年を機に発足したアカデミーも、今年で7年目を迎えます。回を重ねるごとに、皆様から「凄いね！ルーテルはー」と言われるようになりました。

今回の音楽出演者も、日本国内外で音楽活動をしている皆さんで構成されました。東京芸術大学大学院を修了されている安本ゆかさんの声楽演奏に始まり、初めて作曲の分野で活躍する田麥裕子さんが、胡弓奏者 趙国良さんとの素晴らしいコラボレーション。また、華麗なるフルートアンサンブルなど、飽きることもない2時間を過ごすことが出来ました。私自身も、回を重ねるごとにルーテル学院、そして九州女学院の優秀な芸術コース卒業生に出会える喜びを感じています。

来年度は、7月31日～8月4日の予定で美術専攻生の「エキシビジョン」が開催されます。この美術展も、若い芸術家たちの才能を感じさせる、レベルの高いものになってきました。

これからも、多くの学院関係者の皆様に、私たち芸術コースの発展を期待していただき、支えていただければ幸いに存じます。



コラボレーション演奏

芸術科主任 福島佳子

Junior High School

中学校

貴重な夏休みの思い出に ～中学サマースクール開催～



鶴山克郎教諭による理科の実験

7月23日～27日までの5日間、サマースクールが行われました。参加した小学4年生から6年生までの165名は、様々な講座を体験するなかで、発見や学び、新しい友だちとの出会いがあり、思い出に残る夏休みになったようです。最終日には、すっかり学校にも慣れ、サマースクールで作ったスライムやポップコーン、作品などを嬉しそうに持って帰る姿が印象的でした。毎年恒例のカレーも、楽しみにしている人が多く、学食も参加者で賑わっていました。

2012年 夏～秋の

Kindergarten

幼稚園

ドキドキのお泊り保育



おいしいご飯ができるかな—炊き出しを体験—

年長児の「お泊り保育」を7月7日～8日に幼稚園で行いました。お泊り保育前日まで不安や緊張で家では泣いていた子もいたようですが、当日は沢山の荷物を抱え、全員笑顔で登園してきました。初日は朝から雨に雷という悪天候でしたが、途中から晴れ間が見え、計画していた江津湖での水遊びもできました。他にも飯ごう炊飯、大工仕事、ロウソクの光を囲んでのキャンドルサービス、肝だめし…と全てのプログラムに48名全員が楽しく参加することができました。

親元を離れて過ごしたこの二日間、色々な場面で困った経験をしたかもしれません。けれども不安や心細さを乗り越えながら、友だちや教師と生活をともし、時には仲間を思いやり協力しながら過ごした二日間の経験がこれからの子どもたちを更に大きくしてくれることと思います。

ちよっぴり大人になった卒園生

1年生同窓会開催



小学校での様子を報告

夏休みに入ってすぐの7月23日。「先生こんにちはー!!」日焼けした顔が走って来ます。この3月に卒園した54名の子もたちと同窓会の日を心待ちに集まって来てくれました。

幼稚園で一緒に過ごした友だちとの四カ月ぶりの再会は、一瞬にして幼稚園の時にタイムスリップ。近況報告の中ではそれぞれが新しい環境の中で頑張っている姿がうかがえました。そんな中で「幼稚園の方がよかったなあ」と。嬉しいけれどちょっと心配なつぶやきです。(小学校で自分を出せずにいるのかな…)と気になります。みんなで讚美歌を歌い、そしてお祈りをして別れました。次は運動会で会うことを約束して…。

こひじの会

子育て支援活動の一環として始めた「未就園の幼児と保護者の集い」がこひじの会です。毎月第2・第4火曜日の10時から11時30分に実施しています。(年間12回程度開かれています。)

子育ては胎児からという考えから、対象年齢は0歳からとご案内をしますが、毎回生後数か月の赤ちゃんから3・4歳のお子さんを連れて20～30程度の親子が参加しています。

内容はルーティンで行うからだの脱力を目的にした「リズムあそび」を中心に、季節に応じた工作や絵本の読み聞かせなどプログラムに変化をつけて楽しんでいきます。子どもたちがおやつを食べている間のおしゃべりも大切な交わりのひとつですが、子育て中のお母様の癒しと活力になれたらという願いと幼稚園にとっては園児募集につながる大切な活動です。



お母さんと一緒にリズム遊び

のいばら会会長就任にあたって

新会長 齋藤禎子



8月のルーテル学院・九州女学院同窓会「のいばら会」の総会で、八田智子

前会長の後任として会長に就任いたしました齋藤禎子と申します。諸先輩の築いてこられた伝統を引き継ぎ学校と同窓生を結ぶ絆としてお手伝いできるよう努力したいと思っております。

母校も共学となり早10年を迎え、最初の頃は学校を訪れても違和感がありました。今では当たり前前の風景となり、生徒さんたちも元氣よく大きな声で挨拶をしてくれます。男子の活躍するスポーツも、新聞紙面を賑わせ、その成果に一喜一憂する今日この頃です。

私は中学・高校と6年間母校で学ばせていただきましたが「感恩奉仕」の教えは私の心の中に常に生きていますし、感謝の気持ちを持つのは育てていただいた賜物だと思っています。

この度の会長就任、重責ではありませんが、皆様がお与えになった試練と受け止め、会員の皆様の安らぎの場をめざして頑張る所存でございます。

ご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願ひ申し上げます。

中学福祉・ボランティア体験学習に参加して

3年2組 永岡 瑞希



9月12日～14日の3日間で、1年生は野外活動（キャンプ）、2年生は職場体験、3年生は福祉体験を行いました。

私たち3年生は、福祉・ボランティア体験で熊本ライトハウスに行きました。1日目は、施設長である山口初子先生の講話を聞き、そのあとブラインドウォーク体験をしました。2日目からは、実際に熊本ライトハウスの現場で、利用者の方々とたくさん触れ合いました。

最初はわからないことばかりで、不安いっぱいでしたが、1日目の講話やブラインドウォーク体験を参考に会話を楽しんで、歩行の手助けをしました。利用者の方々は明るい方ばかりで私たちもたくさん元氣をもらいました。私たちはこのすばらしい体験

をこれかららの生活に生かして、困っている人に手を差し伸べられる勇気を持っていききたいと思います。



ブラインドウォークを体験

聖書の言葉

大学チャプレン 黄 大衛

『自分での確認』

新約聖書のヨハネによる福音書第一章四十六節の後半に、「フィリポは、『来て、見なさい』と言った」という言葉があります。これは私の好きな聖書の言葉のひとつです。

この言葉の背景はこうです。フィリポという人がイエス様の弟子になって、喜んで友だちのナタナエルにこう伝えました。「預言者に預言されたイエスに会った」と。この「イエス」はユダヤ人に望まれていた救い主を指しています。フィリポは救い主と出会いました。当時のユダヤ人にとって、救い主と出会う以上の喜びはありません。ところが友人ナタナエルはそれを信じなかったのです。そのため、フィリポは、自分で確認しなさいと言ったのです。フィリポはイエス様との出会いの素晴らしさに突き動かされ、友に伝えても、それ以上は説明できなかったからです。結局、ナタナエルは自分の確認のうえで、自分もイエス様の弟子の一人になったのです。



黄チャプレン

確かに、自分で確認することは私たちにとって、とても重要なことです。特に重大な決断を下す前に、まずは自分で確認しなければならぬでしょう。また、日常の生活も、事の大小を問わず、確認の連続とも言えるでしょう。学校においても、知識や自然規則、科学的な新しい発見などの確認は、成長期の学生たちだけに限られていないものです。

さて、キリスト教とは、愛の宗教と言われるように、社会の融和に貢献しているのです。本学も積極的に「キリスト教」の考えを宝物として皆さんに薦めております。しかしそれ以上の事は、皆さんの確認に任せます。つまり、神様の存在、神様との出会い、神様に与えられた自分の使命、神様からの不思議な恵み、などなど、自分で確認してみましよう。

「歴史の扉」 ～その時ルーテル学院は～

九州女学院（高女）十一回生 正村 千エ子

大正十五（一九二六）年、九州女学院の誕生とともに父村上二郎は女学院主事となったため、家族を引き連れて室園の丘の上にある女学院主事住宅に移りました。引越しの作業がつつがなく終了したその日の夕食の後、父は子どもたちを集めて訓示をしました。その中の一つに「お行儀良く、礼儀正しく」とありました。特に学院の表門と裏門を守って下さっている用務員さんには「丁寧に挨拶をすること」と申しました。姉や兄たちは真剣な顔で、父の訓示にうなずいていました。その頃まだ四才未満の私は、私なりの思いで、一生懸命父の訓示を聞きま

した。その翌日のことでした。姉や兄たちが皆学校に行き、私は一人ぼっちで遊ぶ友もないので、ついふらふらとお隣の家の庭に入りこんで、美しく咲きそろいはじめた草花を眺めていたのです。すると、急に玄関のドアが開いて、世にも美しい金髪の背の高い西洋人が出てこられたのです。キラリと光った眼鏡



九州女学院 初代主事 村上二郎氏

越しに、じっと私を見つめられたのです。私は怖くて逃げ出したい思いでしたが、ふと昨日の父の訓示の言葉を思い出して、丁寧に頭を下げた大きな声で、「I LOVE YOU」と叫ぶように言いました。すると、その婦人は不意に私を抱きかかえて、頬にキスをなされたのです。何とその婦人こそ九州女学院初代の院長マーサ・B・エカード先生だったのです。彼女は聡明な温情ある母性的な婦人でしたが、日本の文化と風習についての知識はまだまだ十分ではなかったようです。そのため、日本の美しい風習を守り、まことの信仰ある民主的淑女の養成をめざして、神によりこばれる九州女学院を創り上げることに関心を傾けていた父との間では、しばしば論争しなければならぬ問題が

あつたようです。例えば、エカード先生は学校生活の中に、日本文化の美しさを育てる三月三日の「ひな祭り」、七月七日の「七夕祭り」を一種の偶像崇拝的な行為と考えて、校内行事にすることをかたくなにお許しにならないかっただけですが、父が幾日もかけ、様々な文献をそろえて説明申し上げると、やっと理解してくださったとのことでした。後には文楽や歌舞伎も鑑賞される様になられ、父はその都度うれしそうに母に語っておりました。



村上家とエカード先生（前列左から二人目が正村千エ子さん）

この度の思い出話は父のことばかりになつてしまいお許しください。まだまだ語りつくせない思い出話が私の胸の中に溢れんばかりございます。初代院長様をはじめ女子教育に情熱を傾けて、いたずら好きの元気なムスメたちをご指導くださった諸先生方の魂が、校庭のあちらこちらに咲き続けて来た草花とともに、時代が移り変わりましたが、学院の中に香りに豊かに漂い続けて行くことを切にお祈り申し上げます。感謝をこめて。

風吹きてのいばらの一枝
ゆれやまず。

2013年度 大学・高校・中学・幼稚園の募集日程について

九州ルーテル学院大学

入試区分	出願期間	試験日
一般Ⅰ期・帰国学生及び私費外国人留学生・編入学	1月21日(月)～1月31日(木)	2月9日(土)
センター試験利用	2月 4日(月)～2月13日(水)	本学独自の試験は行いません
一般Ⅱ期	2月21日(木)～3月 1日(金)	3月9日(土)

ルーテル学院高等学校

入試区分	出願期間	試験日
専願・奨学	1月10日(木)～1月18日(金)	1月23日(水)
一般	2月 8日(金)～2月15日(金)	2月20日(水)

ルーテル学院中学校

入試区分	出願期間	試験日
専願・奨学前期	12月 3日(月)～12月13日(木)	12月15日(土)
一般・奨学後期	12月19日(水)～ 1月17日(木)	1月19日(土)

ルーテル学院幼稚園

願書受付	面 接
受付中	願書受付時にお知らせします。



詳しくはそれぞれのホームページをごらんください。

九州ルーテル学院

検索

九州ルーテル学院にご支援をお考えの皆様へ

ご存知ですか？ 寄付金の約半分が戻ってきます!!!

近年、寄付を後押しする税制改革が進み、寄付金の
ほぼ半額が戻ってくるようになりました。
手続は確定申告をするだけ！

得 その1【所得税の控除】

本学院は従来の「所得控除」に加え「税額控除」の対象となり、特に小口の寄付支援者への減税効果が高くなりました。

(寄付金総額^{*1} - 2,000円) × 40%の額が所得税から戻ってきます^{*2}。

※1 総所得金額の40%が上限

※2 所得税額の25%が上限

得 その2【個人住民税の控除】

・寄付者が熊本県在住なら：
(寄付金総額 - 2,000円) × 4%、翌年の個人県民税が安くなります。

・更に、寄付者が熊本市在住なら：
(寄付金総額 - 2,000円) × 6%、翌年の個人市民税が安くなります。

※他の市町村での取扱いは、それぞれの役所にお問い合わせください。

例：熊本市に在住の方が5万円寄付すると

所得税 : (50,000 - 2,000) × 40% = **19,200円**

県民税 : (50,000 - 2,000) × 4% = **1,920円**

市民税 : (50,000 - 2,000) × 6% = **2,880円**



合計 24,000円

の税額控除となります(寄付金額の48%)。

※高額のご寄付では「所得控除」を選択した方が、より多くの軽減額を受けられる場合があります。

詳細については
こちらにお尋ね
ください。

九州ルーテル学院
学院総務部
Tel : 096(343)3111